

手軽に作れる！

サル被害防止柵

えんらくくん 猿落君作製マニュアル



イラスト：「みんなで防ごう 農林産物の猿害（奈良県）」より

☆ モデル柵の概要

延 長：180m

猿落君は、弾力のあるグラスファイバー製の支柱にテグス網を張った柵で、サルが登ると支柱がしなって落ちる仕掛けです。

簡単に手に入る材料（廃材等の使用も可）で、比較的安価に作ることが出来ます。また、柵の高さは2.7mありますが、支柱がしなるので脚立が無くても作れます。本パンフレットでは、猿落君の作製方法をわかりやすく解説しています。

萩阿武地域鳥獣被害防止対策協議会

資材一覧（180m分）

資材名（規格）	数量
サル用テグスネット網（3.0m×20.0m）	9巻
弾性ポール（丸型、3.0m×5.5 mm）	240本
ハウスパイプ（1.0m×19.0 mm）	120本
ハウスパイプ（2.0m×19.0 mm）	90本
フックバンド	120個
トラロープ（100.0m×9.0 mm）	2巻
ロックタイ	300個
ペグ	230本
ビニールテープ（黒）	5個

※ すべてホームセンターで購入できます。ハウスパイプ等は、農業用資材の廃材を使用しても構いません。

作製手順

1 トラロープと支柱の配置



圃場の周囲にトラロープを巡らせ、約 1.5m 間隔で支柱となる 1.0m のパイプを配置します。その際パイプに、地中に埋め込む 30 cm の位置にラッカー等で印を付けておくと便利です。



2 支柱の打ち込みとトラロープの固定



①の支柱を 30 cm ほど打ち込みます。



70～100 cm 間隔でペグを打ち込み、トラロープを地面に固定します。

3 横バーの取り付け



フックバンドを用いて、支柱に地上 30~40 cm の高さで横バー（1.4mのパイプ）を固定します。今回は結合タイプのハウスパイプを使用しました。



力作業は
ここまでです

4 弾性ポールの取り付けとネットの配置



支柱に弾性ポールを2本ずつ挿していきます。



ネットを配置し、ロックタイでトラロープとネットの固定用ロープ（下部）及びネットの一部を固定します。

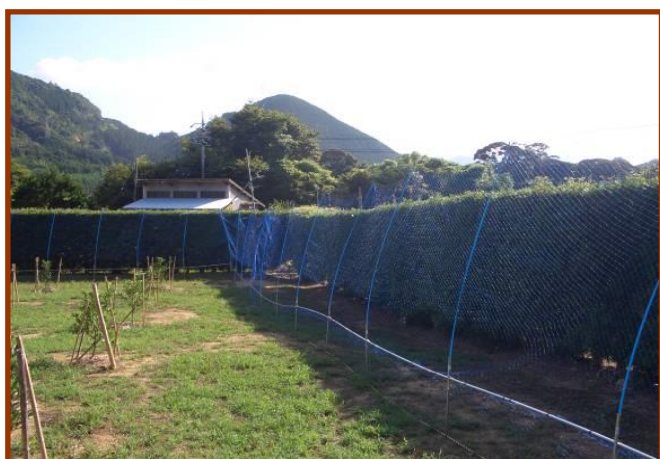
5 ネットの固定



- ① 弾性ポールの上部にビニールテープを巻き、② そこにネットの固定用ロープ（上部）とネットの一部をはさみ、③ さらにその上部にビニールテープを巻いてネットを固定します。
- ④ コーナーやネットの継ぎ目の箇所は、ロックタイで弾性ポールとネットを固定します。



弾性ポールがしなるので作業も簡単！



猿落君の完成です！

おわりに

【猿落君の応用】

地域によってはサルだけでなく、イノシシやシカも防ぐ必要があります。そんなときには「猿落君」にトタンやイノシシ・シカ用ネットを重ね張りすることもできます。すでに設置したイノシシ柵やシカ柵に「猿落君」を追加することもできます。

【サル被害対策に必要なことは？】

サル被害対策を効果的に行うにあたっては、圃場を柵やネットで囲むだけでは根本的な解決にはなりません。

収穫残しの野菜や放置された柿などの果実の回収・撤去を集落ぐるみで行い、集落の、**エサ場としての価値を下げる**ことが大切です。

また、サルが集落に出没しても**見て見ぬふりをする**ことが、**人慣れを進めてしまう一番の原因**となります。ロケット花火などを利用し、追い払いも集落ぐるみで行いましょう。**エサやり行為は厳禁**です。 ※ ロケット花火の使用に際しては、火事や事故に十分ご注意ください。

発行：萩阿武地域鳥獣被害防止対策協議会

〒758-8555 萩市大字江向 510 番地（事務局：萩市役所農政課内）

TEL：0838-25-4192 FAX：0838-25-3770